

木版画の指導

H30, 10, 24 苫前町立苫前中学校 工藤 臣

◎木版画は絵画(絵)です。

- ・筆を彫刻刀に持ちかえて
- ・白と黒の配置や工夫で表す。(デッサン)
- ・絵、彫り、刷りの工程で出会う感動！

◎版画だから「この題材」はない！

- ・絵の指導と同じ
- ・でも木版画の良さ「明快さ」を生かすためには緻密な表現は避けたほうがよい(浮世絵は超緻密だけど)
- ・題材例については別紙参照

下絵づくり

◎下絵は素材！おいしいものを作るには良い素材を！

<大きく表せない>

- ・版のサイズより大きな紙を使う(またはトリミング?)
- ・大きさの目安をつかむ(先輩の作品・良い作品にふれる)

<表情、動きなどを見ているか>

- ・描けない子どもは、描きたい事柄を具体的な像としてイメージすることが難しい。
- ・「動作化」や「言語化」を通してイメージをつくる。

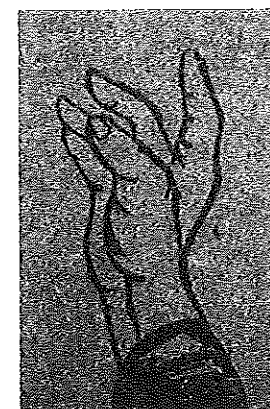
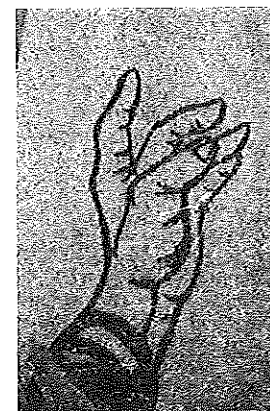
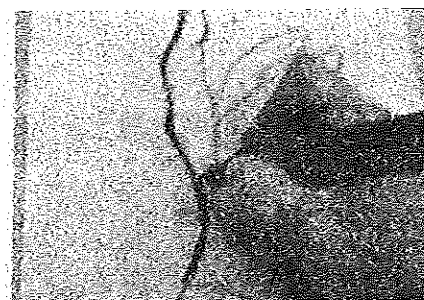
作品のイメージを決める

◎墨入れ(白と黒を決める。作品の印象を決める創造的な仕事！)

・例を示す(先輩の作品、鑑賞作品)

・転写で用いたトレーシングペーパー
を使ってサインペンで黒を入れる。

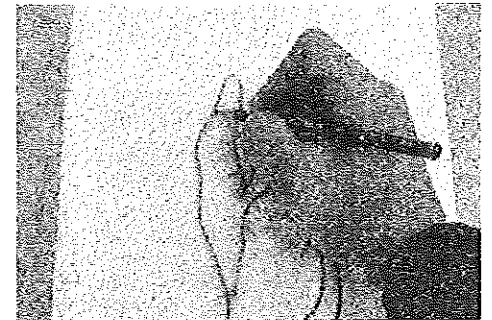
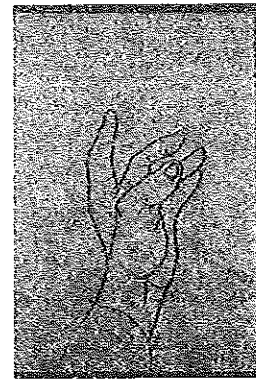
・裏返したものを見ながら、板にも黒
を入れていく。



板への転写

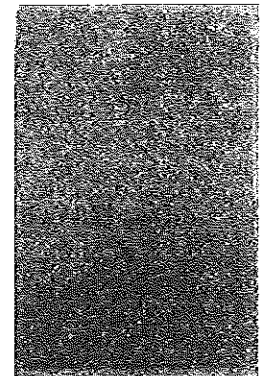
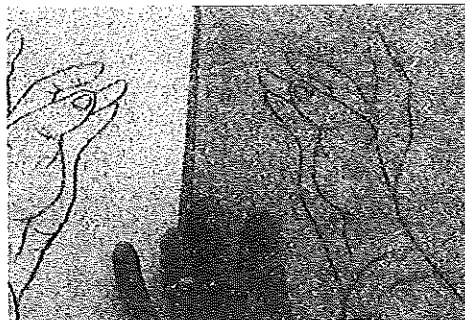
◎写す方法は、いろいろありますが、できるだけシンプルに行いたい

- ・完成した下絵をトレーシングペーパーに写す。
- ・4B～6Bの柔らかい鉛筆を使う。



◎板への転写

- ・裏返して板に当て強くなぞる。



彫る

◎彫刻刀という道具を知り使い方を身につける

- ・持ち方は？
- ・それぞれの彫刻刀の特徴は？ → 試し彫り

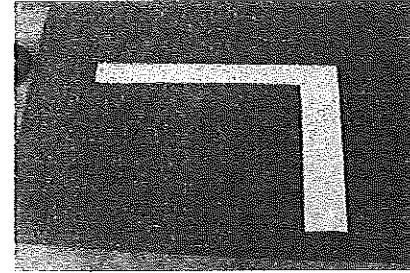
◎彫刻刀による効果が木版画の魅力

- ・彫る＝形が無くなる
- ・彫りすぎない
- ・彫る深さは浅くてよい。どんなに深くてもただの白

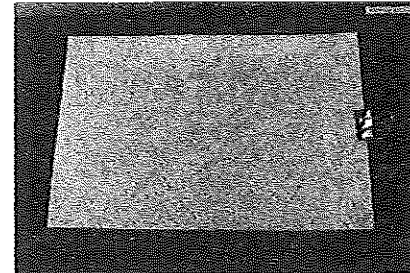


刷る

◎版画紙の中央に刷り上げるため、見当紙を用いたりしますが、今回はガイドをつくってみました。(簡単に作れます！)

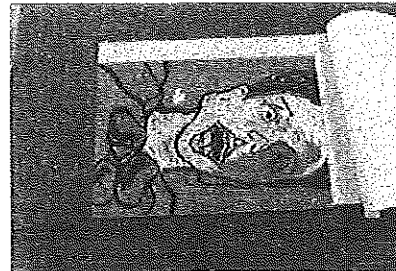


◎ガイドに合わせて版画紙をクリップでとめる

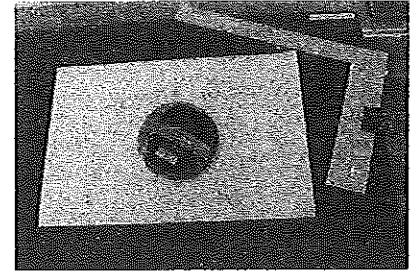


◎インクを盛った版木を
ガイドに合わせる

◎紙を版木にあて、クリ
ップとガイドをはずす



◎刷る



完成！

◎版画は、絵画的な要素を大部分をしめながらも、版画として独自の要素があります。3つの工程をたどりながら、道具や素材との出会い、技術習得、これらを経て、版木から離された作品から感動が湧きます。それは、紛れもなく表す(表現)という行為の結果であり成果です。自己実現そして、さらなる自己形成につながります。今日は、限られた時間で十分な内容とならず申し訳ありません。指導上、お困りなことがあればご連絡ください。わからないことは、一諸に考えます！

